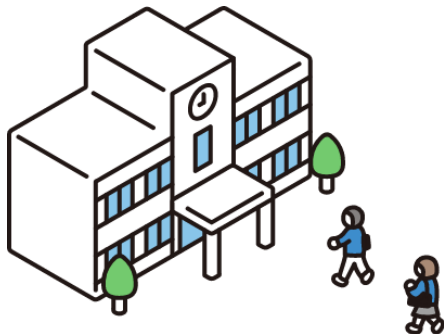
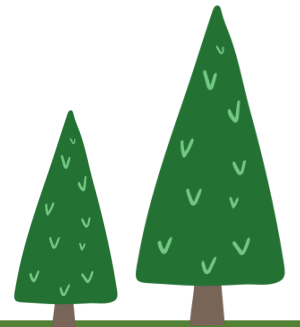


令和6年度 小学生すくすくウォッチ 結果概要



交野市教育委員会



1 趣旨・目的

子どもたち一人ひとりが、学びの基盤となる言語能力や読解力、情報活用能力及び問題発見・解決能力等を向上させ、これからの予測困難な社会を生き抜く力を着実につけることを目的とする。

2 調査を実施した児童数

- 5年生 63,562人（交野市：9校 639人）
- 6年生 66,036人（交野市：9校 628人）

3 実施内容・実施日

- 実施内容
5年生 国語、算数、理科、わくわく問題（教科横断型問題）、アンケート
6年生 理科、わくわく問題（教科横断型問題）、アンケート
教員 アンケート
- 実施期間 令和6年4月17日～25日 ※期間内で学校が実施日を決定

4 各教科・わくわく問題（教科横断型問題）及びアンケートについて

- 教科問題について
当該学年までに定着すべき学習内容で、基礎的な知識及び技能とともに、これらを活用して課題を解決するために必要様々な思考力、判断力、表現力を問う問題等
- わくわく問題（教科横断型問題）について ※5・6年生共通問題
特定の教科の枠にとらわれず、複数の文書や資料から情報を読み取ったり、問いに対して判断や理由を明確にして自身の考えを表現したりする力を問う問題等
出題形式は、選択式及び短答式に加え、記述式
- アンケートについて
児童自身の目標に向かって頑張る力、気持ちをコントロールする力、人と関わる力、次の学びや生活にいかす力、好奇心などに関する内容や、学習状況、学級や授業等に関する意識等を問う

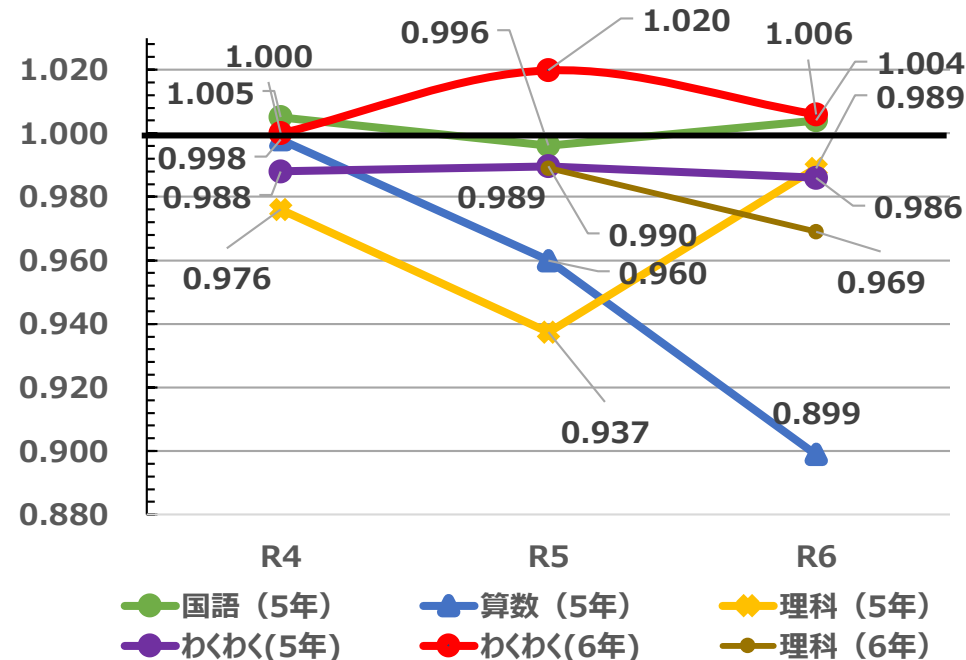
平均正答率 (%)

※ () 内の数値は大阪府比

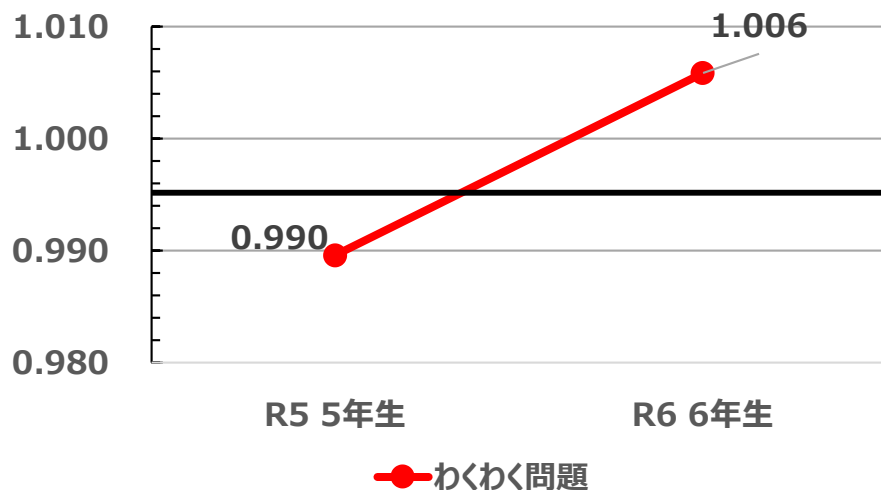
年度	5 年生				6 年生	
	国語	算数	理科	わくわく問題	理科	わくわく問題
R6	73.7 (+0.3)	33.0 (-3.7)	61.2 (-0.7)	57.1 (-0.8)	61.7 (-2.0)	68.9 (+0.4)
R5	78.0 (-0.3)	36.0 (-1.5)	58.4 (-3.9)	66.4 (-0.7)	72.3 (-0.8)	77.1 (+1.5)
R4	77.2 (+0.4)	41.9 (-0.1)	70.5 (-1.7)	59.3 (-0.7)		69.1 (+0.1)

対府比の経年変化

※大阪府の平均正答率を1.000としたときの、市の各教科等の平均正答率の推移



わくわく問題対府比の同一集団における経年変化

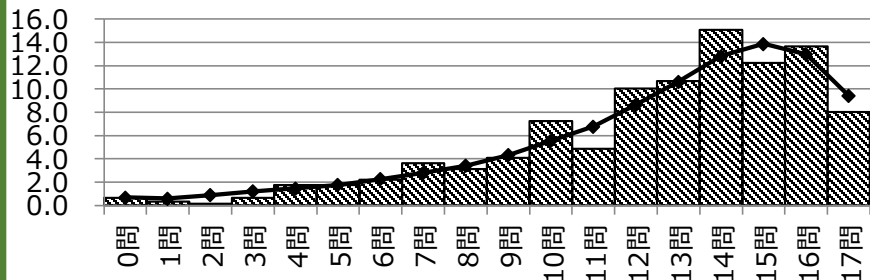


- 5 年生国語では0.3ポイント、6 年生のわくわく問題では0.4ポイント、それぞれ大阪府平均より上回っている。
- わくわく問題における同一集団の経年変化では、昨年度大阪府平均を下回っていたものの、対府比1.006へ上昇している。
- 5 年生算数では、大阪府平均を3.7ポイント下回っている。
- 6 年生理科 (同一集団の経年変化) では、昨年度対府比よりやや改善は見られたものの、2.0ポイント下回っている。

国語（5年生）

（横軸：正答数、縦軸：割合）

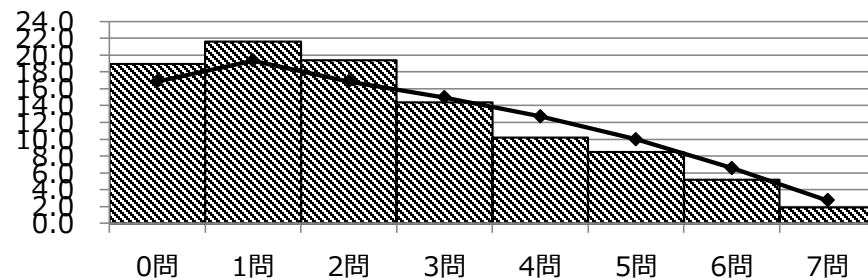
交野市 大阪府



算数（5年生）

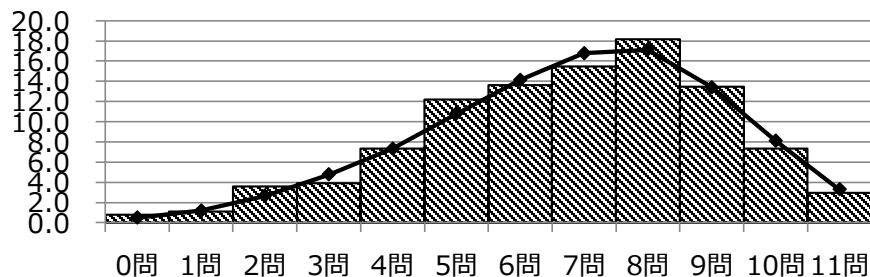
（横軸：正答数、縦軸：割合）

交野市 大阪府



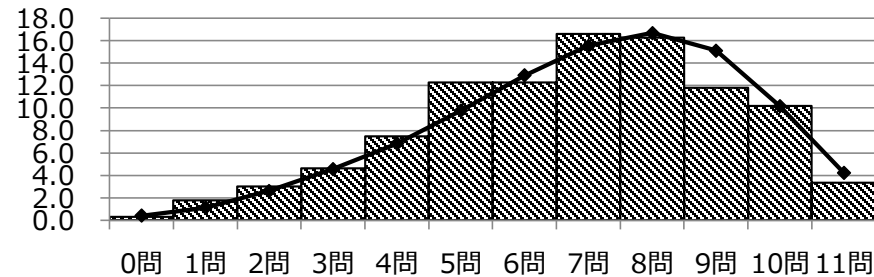
理科（5年生）

貴教育委員会 大阪府



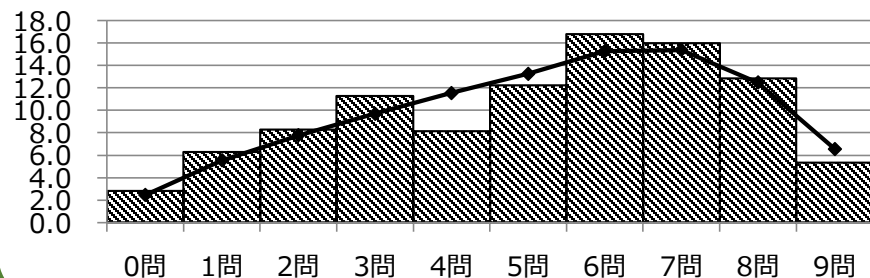
理科（6年生）

貴教育委員会 大阪府



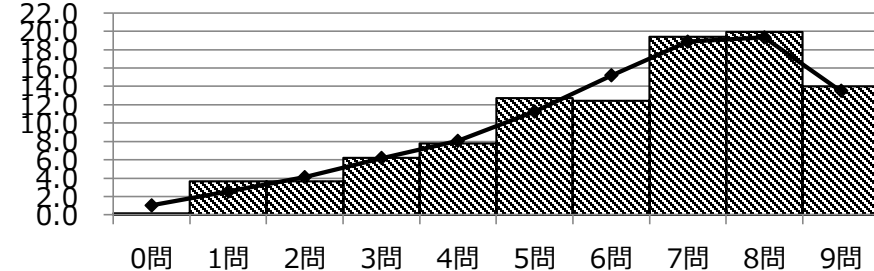
わくわく問題（5年生）

貴教育委員会 大阪府



わくわく問題（6年生）

貴教育委員会 大阪府



国語（5年生）

学びの基盤となる言語能力のうち、「知識・技能」を中心に出题された

分類・区分別集計結果

分類			対象 問題数 (問)	平均正答率（％）	
				交野市	大阪府
全体			17	73.7	73.4
学習指導要領の領域等	知識及び技能	(1) 言葉の特徴や使い方に関する事項	15	75.5	75.0
		(2) 情報の扱い方に関する事項	1	72.8	70.7
		(3) 我が国の言語文化に関する事項	1	47.9	51.3
	思考力、判断力、表現力等	話すこと・聞くこと	—	—	—
		書くこと	5	67.0	64.9
		読むこと	—	—	—
評価の観点	知識・技能		17	73.7	73.4
	思考・判断・表現		5	67.0	64.9
問題形式	選択式		8	77.7	78.0
	短答式		9	70.1	69.3
	記述式		—	—	—

※ 1つの問題が複数の区分に該当することがあります。

良好

- 相手や目的に応じた適切な言葉に書き直し、文を整えること【知識・技能】【思考・判断・表現】（対府比：+2.4）
- 修飾語と被修飾語の関係を捉えて、文の内容を正しく理解すること【知識・技能】（対府比：+1.4）
- 主語と述語の関係を捉えて、文の内容を正しく理解すること【知識・技能】（対府比：+1.1）

課題

- 故事成語の意味を正しく理解すること【知識・技能】（対府比：-3.4）
- 文と文との意味のつながりを考えながら、適切な接続表現を使って一文で書くこと【知識・技能】（対府比：-2.9）

10

文と文との意味のつながりを考えながら、適切な接続表現を使って一文を書ることができるかをみる問題

【もとの文】 朝から雨がふっていた。しかし、昼にはやんでいた。

	交野市（％）	大阪府（％）
逆接の接続表現を使い、かつ文の意味を変えずに一文で解答している	51	53.9
上記以外の解答	42.1	38.3
無解答	6.9	7.7

相手や目的を意識して書こうとしたことが明確に書けているかを確認したり、文章の構成を考えたりする学習活動の充実や、学習を通して獲得した「知識及び技能」を日常的に活用して定着を図る場の設定が求められる。

算数（5年生）

大阪の小学生が特に苦手としている領域を中心に出題された

分類・区分別集計結果

分類	区分	対象 問題数 (問)	平均正答率（％）	
			交野市	大阪府
全体		7	33.0	36.7
学習指導要領の 領域	数と計算	2	34.0	38.4
	図形	3	27.6	30.4
	測定／変化と関係	2	34.0	38.4
	データの活用	2	39.8	44.6
評価の観点	知識・技能	4	38.8	42.5
	思考・判断・表現	4	29.2	32.2
問題形式	選択式	2	39.8	44.6
	短答式	3	32.0	34.8
	記述式	2	27.5	31.8

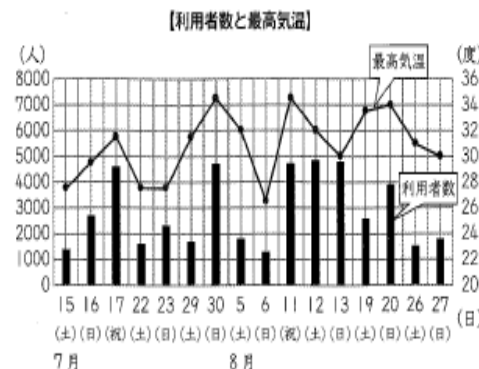
※ 1つの問題が複数の区分に該当することがあります。

課題

- 棒グラフと折れ線グラフそれぞれから読み取ることができる内容を正しく理解すること【知識・技能】（対府比：-6.0）
- 伴って変わる二つの数量の関係を読み取り、□や△を用いてその関係を式に表すこと【知識・技能】（対府比：-5.0）
- 円と長方形の性質に着目し、その違いをもとにして説明すること【思考・判断・表現】（対府比：-4.6）

2（2）

棒グラフと折れ線グラフそれぞれから読み取ることができる内容を正しく理解しているかをみる問題



解答類型	交野市 (%)	大阪府 (%)
正答	<u>42.1</u>	<u>48.1</u>
無解答	5.6	5.7

学習場面から問題を見いだしたり、その解決に向けて数、式、図やグラフを使う等して考えたり、表現したり、目的に応じてグラフや表から必要な数値を読み取ったり、式に表したりする学習活動の充実が求められる。

理科（5・6年生）

大阪の小学生が特に苦手としている領域を中心に出題された ※大問1は5・6年共通

分類・区分別集計結果（5年）

分類	区分	対象 問題数(問)	平均正答率 (%)	
			交野市	大阪府
全体		11	61.2	61.9
学習指導 要領の領 域	エネルギー	7	59.1	60.4
	粒子	1	72.8	74.9
	生命	1	86.2	86.4
	地球	2	50.2	48.4
評価の観 点	知識・技能	7	66.5	67.3
	思考・判断・ 表現	4	52.0	52.5
問題形式	選択式	6	62.7	63.0
	短答式	3	70.6	73.0
	記述式	2	42.7	42.1

（6年）

対象 問題数(問)	平均正答率 (%)	
	交野市	大阪府
11	61.7	63.7
6	61.6	63.4
1	76.1	75.9
2	78.1	82.0
2	38.2	40.3
7	69.0	69.9
4	48.7	52.7
6	64.2	65.1
3	77.4	80.0
2	30.3	34.9

※ 1つの問題が複数の区分に該当することがあります。

良好

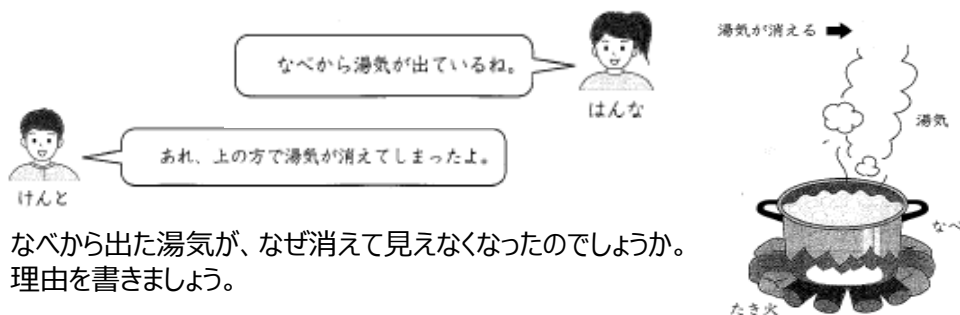
- 日光の集め方であたかさが変化することを理解すること【知識・技能】（対府比：5年 +1.9、6年 +1.2）
- 水の状態の変化について理解し、書き表すこと【思考・判断・表現】（対府比：5年 +4.1）

課題

- 昆虫の育ち方と順序と名称について理解すること【知識・技能】（対府比：5年 -4.4、6年 -3.2）
- 方位磁針の性質から地球の磁場について考えて、書き表すこと【思考・判断・表現】（対府比：5年 -2.7）
- 振り子の周期は振り子の長さによって変わること理解し、正しく実験を行うための条件を考えること【思考・判断・表現】（対府比：6年 -4.3）

1 (4)

水は加熱されなくても蒸発して水蒸気となり空気中に含まれていくことを理解し、実際の現象にあてはめて考えて、書き表すことができるかをみる問題



解答類型	交野市 (%)		大阪府 (%)	
	5年生	6年生	5年生	6年生
①②両方を満たして解答しているもの	5.0	1.8	4.4	2.4
①を満たして解答しているもの	4.9	12.8	5.8	12.2
②を満たして解答しているもの	50.7	19.6	46.3	24.8
上記以外	28.8	53.7	35.3	53.4
無解答	10.6	12.1	8.2	7.3

学習した内容を自然の事物や現象、日常生活に当てはめて考えたり、理解したりすることや、資料をもとに問題を見だし、その解決策を趣旨に沿って考え、表現することの学習活動の充実が求められる。

わくわく問題（5・6年生）

文章や図・表・グラフ・ホームページ等を読んで、自分の考えを書く問題が出題された

分類・区分別集計結果

分類	区分	対象問題数(問)	平均正答率(%)			
			5年		6年	
			交野市	大阪府	交野市	大阪府
	全体	9	57.1	57.9	68.9	68.5
観点	A 図や表、グラフ、短い文章、会話文等に示された内容を関連付けて、正しくとらえる。	4	60.1	60.5	71.8	70.7
	B 図や表、グラフ、短い文章、会話文等の内容を関連付けて、それをもとに論理的に考える。	5	49.1	50.4	63.3	62.5
	C 図や表、グラフ、短い文章、会話文等の内容を関連付けて、新たな課題となる事がある。	2	61.3	62.8	73.8	74.6
	D 図や表、グラフ、短い文章、会話文等の内容を関連付けて、それをもとに新たな課題を考える。	3	67.9	68.8	78.4	79.7
	E 興味・関心のある事があるについて、意欲的に工夫して相手に伝える。	1	81.0	80.7	87.6	89.9
問題を とらえる	文章から読み取る	6	60.2	61.1	72.7	71.8
	会話から読み取る	3	50.9	51.6	61.5	62.1
	図や表から読み取る	7	53.6	54.6	65.8	65.7
伝える	資料の情報を整理して伝える	7	55.9	56.5	67.5	66.8
	自身で考えたことを伝える	3	67.9	68.8	78.4	79.7
	理由や根拠を明確にして伝える	2	61.3	62.8	73.8	74.6
問題形式	選択	5	51.4	52.2	62.9	61.9
	図表	1	81.0	80.7	87.6	89.9
	記述	4	64.2	65.0	76.5	76.9

※ 1つの問題が複数の区分に該当することがあります。

資料をもとに問題を見だし、その解決策を趣旨に沿って考え、表現する学習活動の充実が求められる。
また、考えを表現するときは、理由や根拠を示す取組みの充実も求められる。

良好

- 資料の内容を関連付けて、正しく捉えること【観点A】（対府比：6年 +2.3〔4問平均〕）
- 資料の内容を関連付けて、それをもとに論理的に考えること【観点B】（対府比：6年 +0.7〔5問平均〕）

課題

- 資料の内容を関連付けて、それをもとに論理的に考えること【観点B】（対府比：5年 -1.3〔5問平均〕）
- 資料の内容を関連付けて、それをもとに新たな課題を考えること【観点C】（対府比：5年 -1.5、6年 -0.8〔ともに2問平均〕）

2 (3)

ダンスの評価で得た客観的な資料を分析し、具体的な踊りの工夫を説明する場面であり、問題解決の一連の流れを体験できるように作成された問題

条件①資料 1 から 1 つ以上選んでいる。

条件②資料 1 で選んだ内容と資料 2 からわかる内容を書いている。

条件③具体的な工夫を条件②と関連付けて書いている。

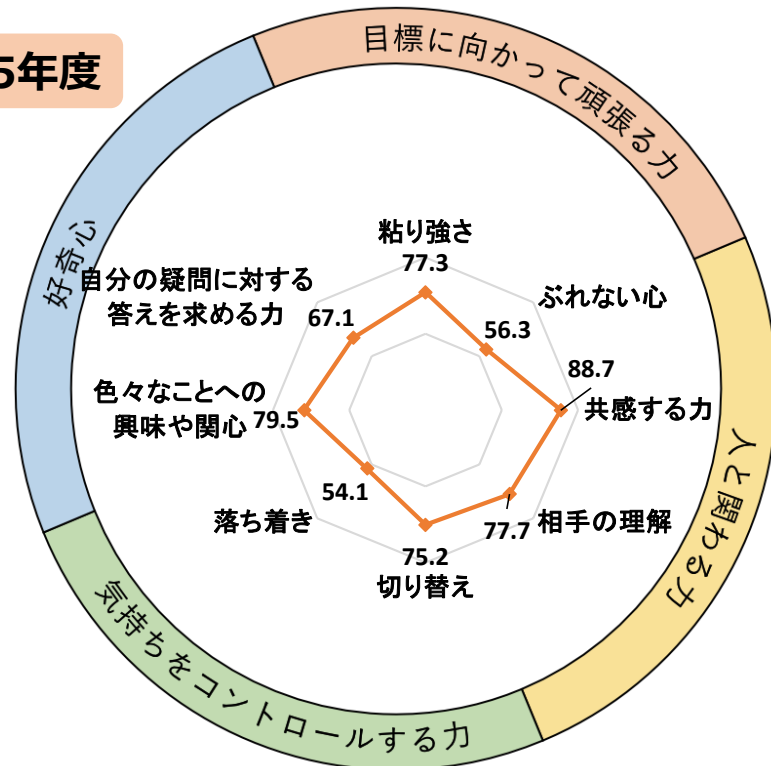
解答類型	交野市 (%)		大阪府 (%)	
	5年生	6年生	5年生	6年生
条件を全て満たしている	<u>20.6</u>	<u>31.7</u>	<u>22.7</u>	<u>34.1</u>
条件①、②を満たし、条件③を満たさないもの	<u>11.9</u>	<u>11.6</u>	<u>12.1</u>	<u>11.2</u>
条件①、③を満たし、条件②を満たさないもの	<u>20.5</u>	<u>22.8</u>	<u>19.8</u>	<u>23.1</u>
上記以外、無解答	<u>17.0</u>	<u>10.2</u>	14.6	10.2

児童アンケート 未来に向かう力と好奇心（5年生）

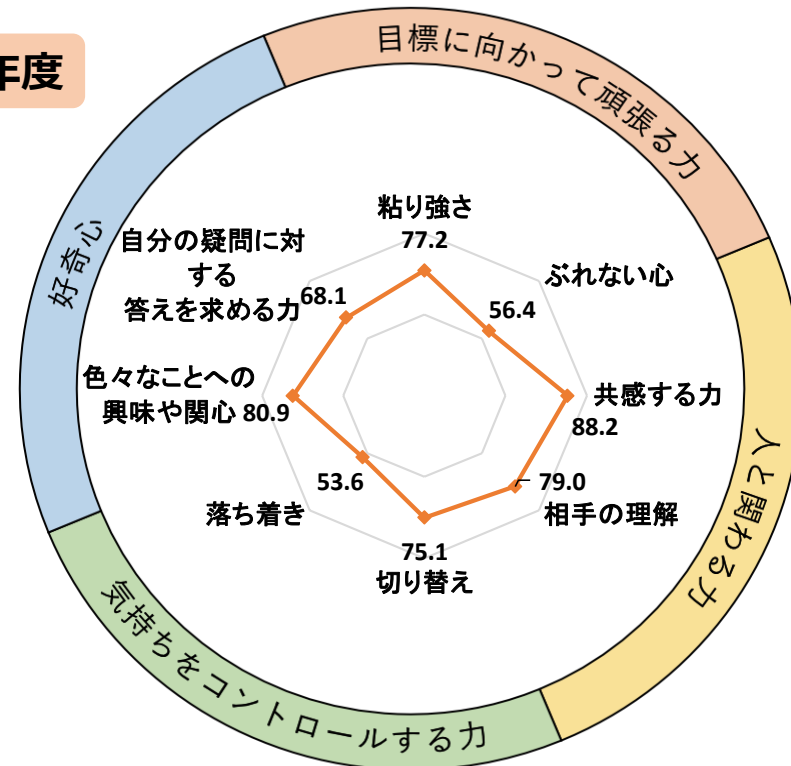
※関係する設問（各3問）のアンケート回答から平均を算出し、その平均を項目の合計（15）で除して百分率で換算している

未来に向かう力と好奇心	チャート上の項目名
目標に向かって頑張る力	粘り強さ、ぶれない心
人と関わる力	共感する力、相手の理解
気持ちをコントロールする力	切り替え、落ち着き
好奇心	色々なことへの興味や関心、自分の疑問に対する答えを求める力

令和5年度



令和6年度



○昨年度と同様の結果となっており、「共感する力」について、肯定的回答率が高い。

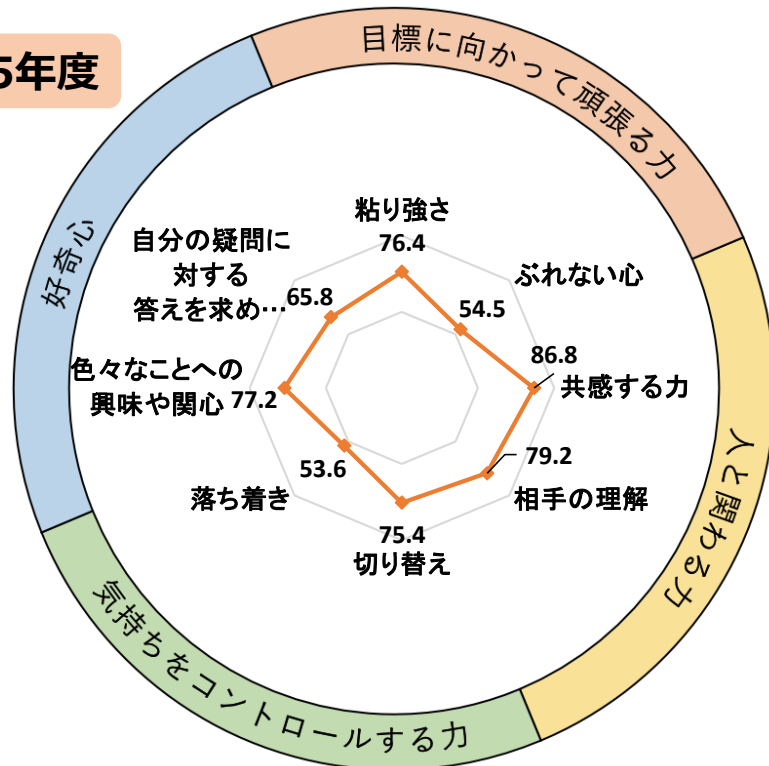
●「ぶれない心」「落ち着き」に係る肯定的回答率が低い。

児童アンケート 未来に向かう力と好奇心（6年生）

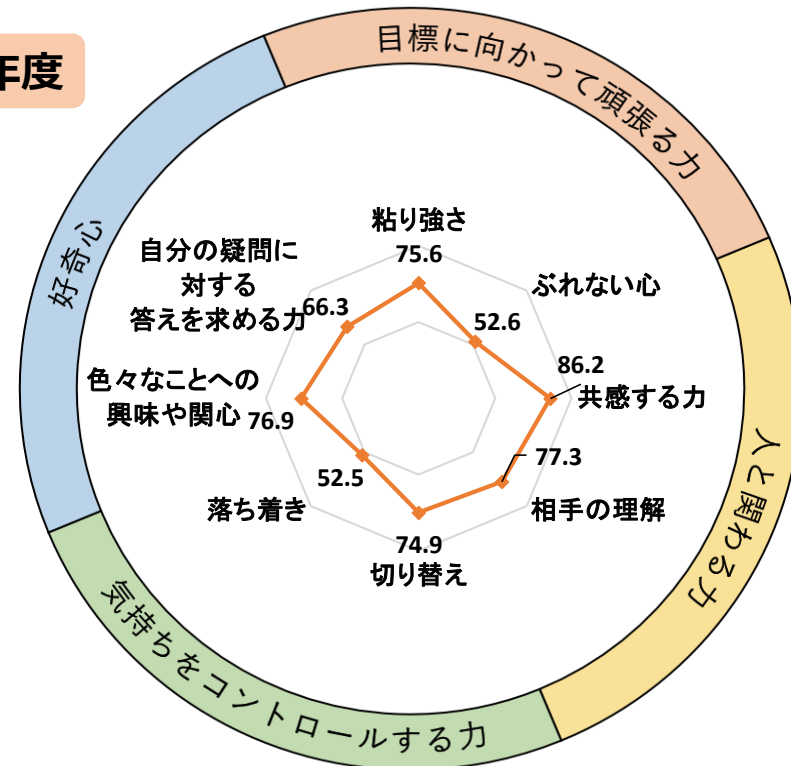
※関係する設問（各3問）のアンケート回答から平均を算出し、その平均を項目の合計（15）で除して百分率で換算している

未来に向かう力と好奇心	チャート上の項目名
目標に向かって頑張る力	粘り強さ、ぶれない心
人と関わる力	共感する力、相手の理解
気持ちをコントロールする力	切り替え、落ち着き
好奇心	色々なことへの興味や関心、自分の疑問に対する答えを求める力

令和5年度



令和6年度

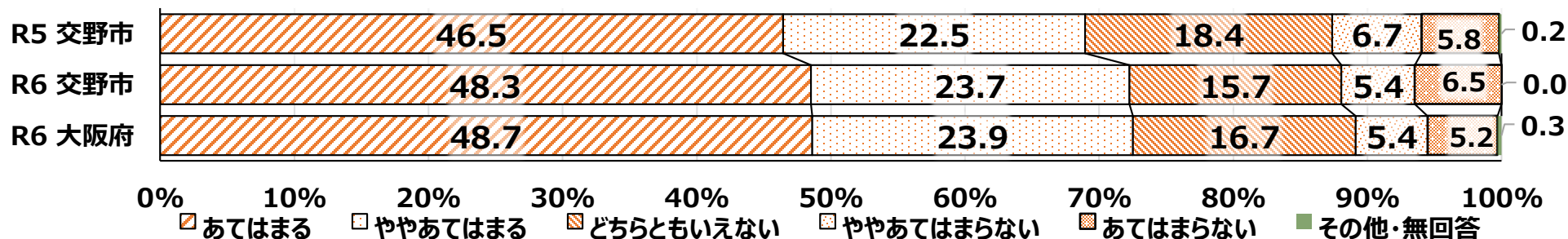


○昨年度と同様の結果となっており、「共感する力」について、肯定的回答率が高い。

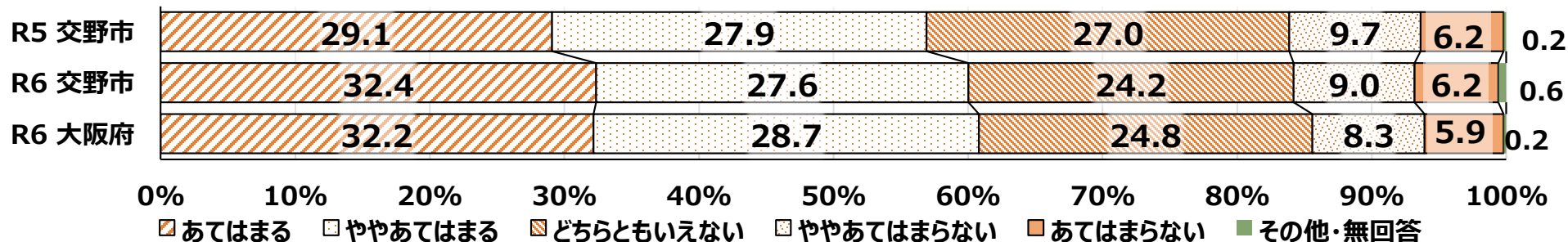
●「ぶれない心」「落ち着き」に係る肯定的回答率が低い。

「色々なことへの興味や関心」

■ 誰もやったことのない物事にとっても興味がある

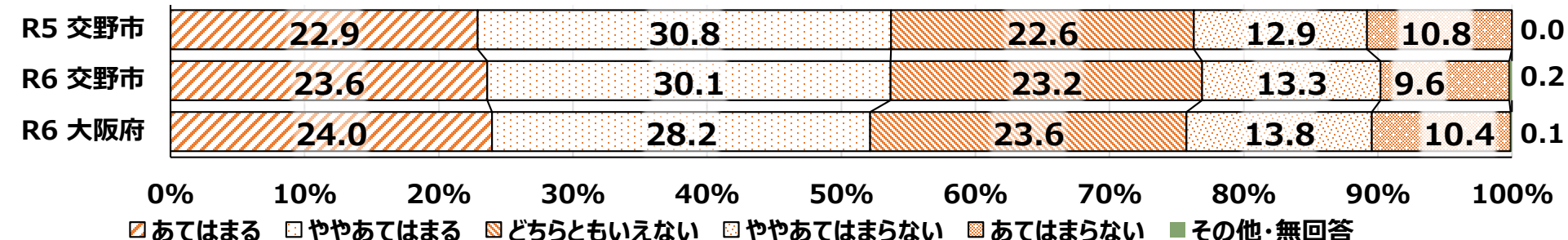


■ どこに行っても、新しい物事や経験を探す



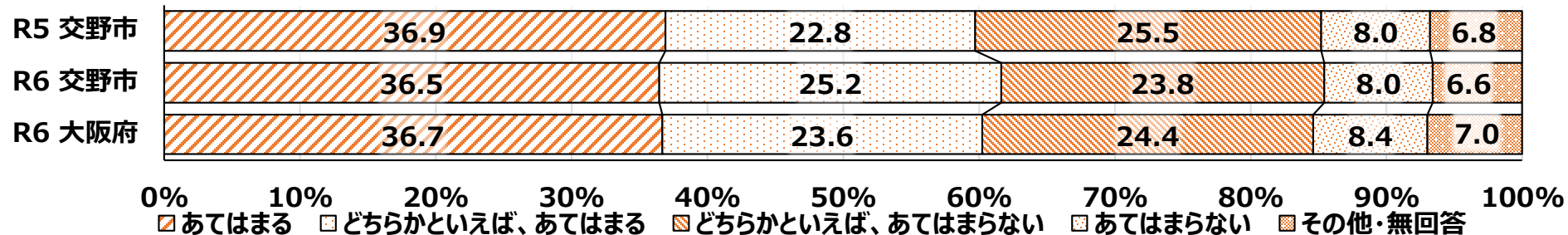
「ぶれない心」

■ 終わるまでに何か月もかかる計画に、最後までずっと興味を持ち続けるのは難しい

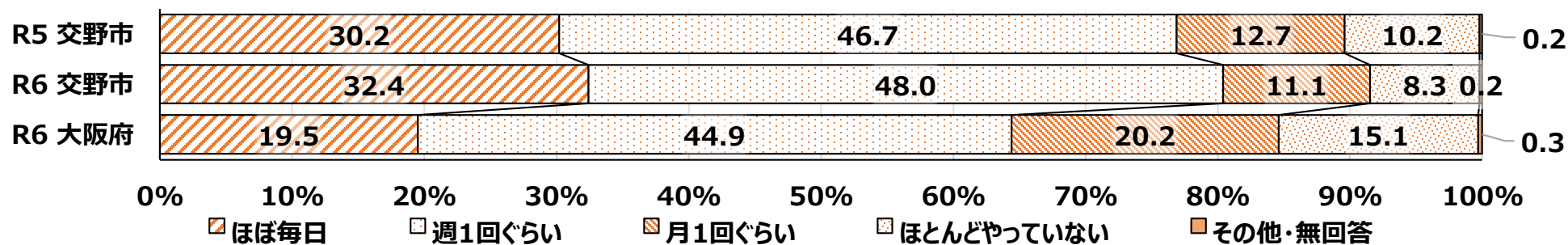


良好な結果が見られた項目（5・6年生） ※肯定的回答において、昨年度より上昇が見られたもの

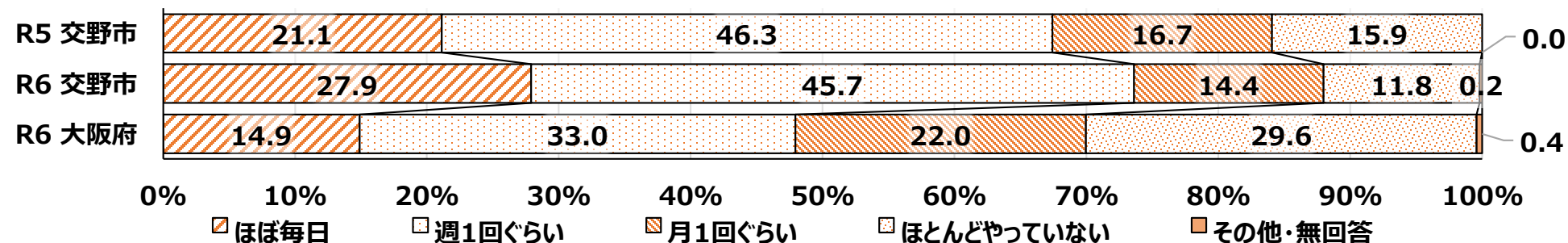
■ 「あなたの学級は、授業中まちがっても笑われない」



■ 授業で、コンピュータやタブレットを使って、必要な情報を調べることはどれくらいありますか

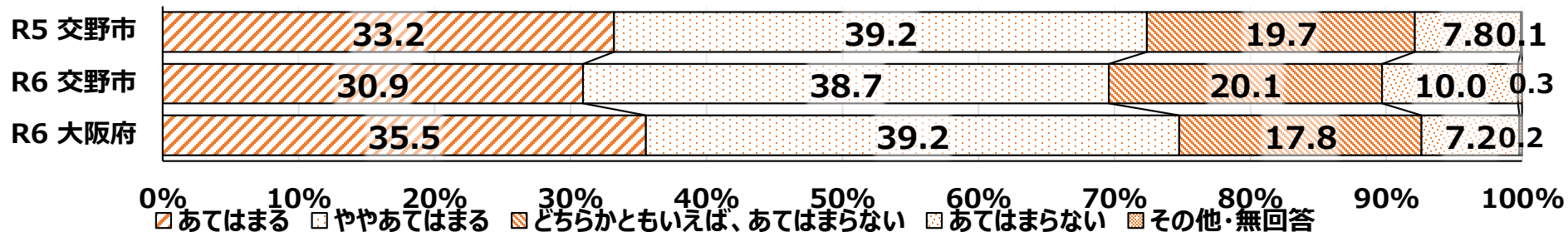


■ 授業で、コンピュータやタブレットを使って、自分の考えを書きこんだり、友だちと意見を交流したりすることはどれくらいありますか

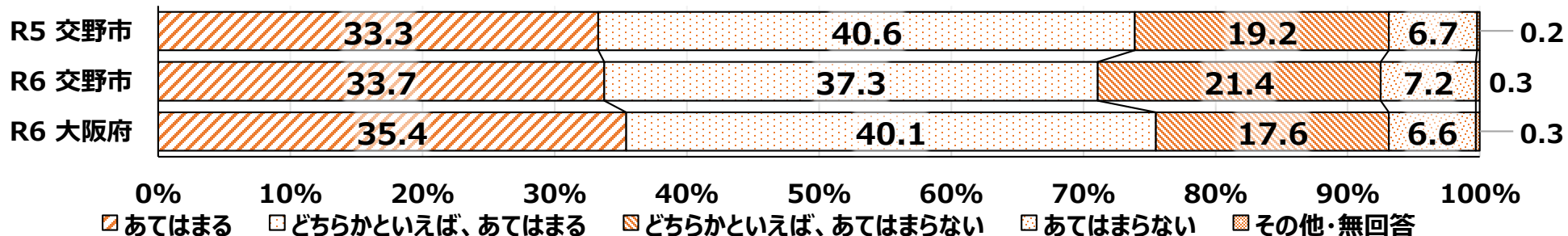


課題が見られた項目（5・6年生） ※肯定的回答において、府平均と比較的差が大きかったもの

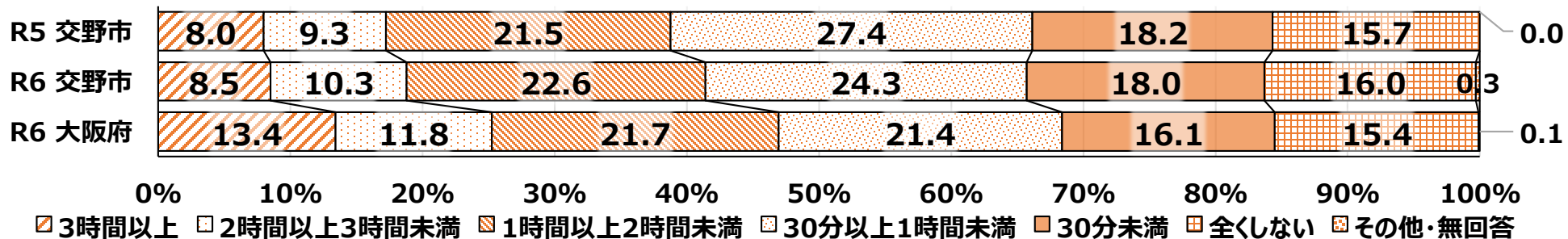
■ 文章を読むとき、どこが大事なところか考えながら読んでいる



■ 話し合いをするとき、自分の意見と他の人の意見を比べている



■ ふだん（月曜日から金曜日）1日に、学校の授業や宿題以外に、およそどれくらいの時間、勉強をしますか（学習塾で勉強している時間や家庭教師に教わっている時間も含む）



調査結果及び改善に向けて

- ◎ 授業で、調べ学習や意見交流、発表等の学習活動におけるタブレットの使用状況は、この3年間大阪府平均を上回っている（「ほぼ毎日使用」対府比 R4：+13ポイント、R5：+8.6ポイント、R6：+13ポイント）ことから、タブレットをツールとした対話的で協働的な学びの実践が積み重ねられていることが分かる。
 - 日々の教員研修や実践交流の成果であると捉えられ、教員の授業でのタブレットの活用スキルを活かし、例えばシンキングツールを用いて思考を整理したり、深めたりしながら課題解決を進めたり、また新たな課題を見いだしたりする等、児童の思考力、判断力、表現力等の育成を目的とした学習活動を行う。
- ◎ 各教科の知識・技能の習得について、5年国語を除いて大阪府平均を下回っていたり、既習事項が活用できていないという結果が散見されたことから、その定着や活用に課題が見られる。
 - 児童が学んだ知識・技能を日常生活において活用できることをめざし、小学校5・6年生を対象とした算数科等の教科担任指導を実施する等、教員の専門性を生かした指導や児童の習熟の実態に応じた指導を行い、よりきめ細やかな学習指導を進め、実態に応じて意図的・計画的に学習場面を設定する。
- ◎ 「話し合いをするとき、自分の意見と他の人の意見を比べている」について、強肯定「あてはまる」の回答がこの3年間上昇傾向にある（R4:27.5、R5:33.3、R6:33.7）ことから、話し合う内容や目的、方法等を教師が適切に指導している成果であると捉ええられる。
 - 先進的な授業の取組み（主体的な学び、話し合い）を実施している他府県の小・中学校への教育視察を継続させ、教師の授業力向上及び各校における継続的な授業改善の取組みを推進する。